

令和元年度事業報告

1 全体的事項

令和元年度は好調な経済に支えられた反面、労働者不足が顕著となった年でした。高齢者をめぐる環境でも、国が策定した「ニッポン一億総活躍プラン」では、誰もが活躍できる全員参加型の「一億総活躍社会」の実現を目指しており、特にシルバー人材センターに対しては、就業時間の緩和による業務範囲の拡大、県連合会による高齢者活躍人材確保育成事業の展開など多様な就業機会の確保と会員拡大への様々な取組が図られました。

高齢化の進行とともに労働力人口の減少する中で、シルバー人材センターには人手不足分野や現役世代を支える分野、特に介護・子育て支援分野、深刻化する空き家管理対策への対応など地域社会を支える役割が求められています。

このような中で、令和元年度上田地域シルバー人材センターは、会員への就業機会の提供、会員拡大、高齢者の社会参加というシルバー人材センター本来の目的のため、

- ① 会員拡大に向けた積極的な広報活動や勧誘活動
- ② 地域住民や関係団体との連携による就業開拓活動や地域の高齢者の手が必要とされる分野の開拓
- ③ シルバー就業の適正就業の徹底と派遣事業への取組強化
- ④ 事故防止策及び安全体制の徹底と会員一人ひとりの安全意識の向上
- ⑤ 信頼されるシルバー人材センターを目指した技能講習や研修活動等の強化

の5項目を基本目標として定めるとともに、中期基本計画に盛り込まれた取組に従い事業展開を進めてまいりました。

令和元年度の最優先課題として取り組んでまいりました会員拡大については、「会員拡大特別対策事業」の取組の成果もあって、新規入会者は前年度実績を上回ったものの、退会者、特にご自身のご病気や加齢を理由とした退会が増加し、結果として前年度末実績を2年連続で下回ることとなりました。今後も継続した会員勧誘活動やシルバー事業への理解、関心を一層高める取組が必要となっています。

受注状況では、4月の配分金積算標準単価の改定や10月の消費税率の引き上げという変動要因のほか、個々の民間企業による発注額の大きな増減もありました。しかしながら、大口契約企業からの受注がなくなる中で、公共や民間企業からの新規受注や受注増もあり、前年度実績を上回る堅調な伸びとなりました。

一方、一般家庭については、除草・剪定・伐採作業などが増加したものの、大工工事などの技能分野や屋内外の軽作業が減少したことからほぼ前年度並みの実績にとどま

りました。

適正就業の観点から切り替えを進めている派遣事業では従来の福祉施設等の運転業務に加え、企業等からの新たな受注や、請負就業で受注していた大口企業の派遣就業への切り替えがあったことから大幅な増加となり、全体としても安定した伸びとなりました。

地域でのシルバー活動の起点として推進してきた班会活動は、開催方法などの工夫も加え、会員どうしの仲間意識の向上や意見交換や情報交換を重ねることで、シルバー人材センター活動への理解を深め、一人一新規就業開拓、一人一会員拡大への取組に繋がってきています。

総務部門をはじめ、就業促進、安全適正就業、広報活動については各専門委員会の活動報告のとおり、それぞれの立場で上田地域シルバー人材センターの健全な発展と活性化に努めました。

高齢者の社会参加が地域の課題となっている中で、上田地域シルバー人材センター事業に終始ご理解とご支援をいただきました国や県、関係市町村、関係機関、団体及び地域住民の皆様には厚くお礼を申し上げます。

2 各専門委員会の活動

(1) 総務委員会

令和元年度は、現中期基本計画の中間年度にあたり、計画に盛り込まれた目標値を達成するため、各専門委員会との調整を図りながら取組を進めてまいりました。

特に、最大の目標である会員拡大については、昨年度に引き続き、特定費用準備資金を活用した「会員拡大特別対策事業」として、上田ケーブルビジョンやエフエムとうみなど地元メディア、市町村広報誌の活用を図ったほか、イベントでの勧誘、PRグッズ等を活用し、シルバー事業への理解と関心の啓発、会員の勧誘に取り組んでまいりました。残念ながら会員の増加には至りませんでした。シルバー事業への理解と関心は高まったものと考えています。

今年度の会員懇談会は、国や長野県、市町村などの対応方針に沿い、新型コロナウイルスの感染拡大防止措置として2月26日以降に予定されていた4か所を中止し、会議資料の配布のみといたしました。また、3月に開催を予定していた各種イベントや講習会についても中止や延期といたしました。

会員懇談会や地区班会や班長会は、地域に根差したシルバー人材センターの根幹的な活動であり、会員相互の情報交換や意見交換の場として重要な取組です。開催できた地区では、活発な意見交換が行われました。

契約実績については、4月の配分金標準単価の見直しや、10月の消費税率の引き上

げという増加要因もありましたが、会員の皆さんのご努力により、請負委任は前年度比で1.2%増、派遣事業も14.9%増となり、前年度契約を上回る実績となりました。

人手不足分野として期待される「介護予防・日常生活支援総合事業」は3年目を迎え、地域に定着した活動になってまいりました。

ア 消費税率引き上げへの対応

昨年10月に消費税率が8%から10%に引き上げられました。

シルバー人材センターの配分金は内税方式となっているため、全国シルバー人材センター事業協会の指導により、適正な引き上げを行いました。

イ 指定管理施設の運営

上田市から指定管理者として管理運営を受託している3つの施設については、概ね良好に運営することができました。塩田の郷と天下山の両マレットゴルフ場については、利用者の減少傾向は続いているものの、昨年10月の東日本台風（台風19号）による被害で千曲川河川敷のマレットゴルフ場が利用できないことから、代替施設として利用者が増加しました。特に塩田の郷マレットゴルフ場については、11月末の営業終了を12月22日まで延長し、多くの愛好家にご利用いただきました。

また、天下山マレットゴルフ場については、今年度上田市から新たに5年間の指定管理者として指定を受けることができました。

両施設とも会員始め多くの皆さんのボランティア活動に支えていただく中で、美しい芝のコース整備と利用者の満足度の向上に努める施設運営にあたってきました。

ウ 派遣会員の労働衛生への取組

労働安全衛生法に従い、衛生管理規程を整備するとともに衛生委員会の設置と産業医の選任を行いました。毎月衛生委員会を開催する中で、会員の安全と健康確保対策に取り組んでまいりました。

(2) 就業促進委員会

平成31年度は途中で元号が令和に変わり、令和元年度として新たな気持ちで希望が持てる年となりました。しかし、振り返ってみますと5月・6月には雨天の日が続き、農作物への影響が心配され、7月・8月は猛暑が続きシルバー人材センターの就業にも影響がありました。また、秋には東日本台風が襲来し長野県でも河川の氾濫による大きな被害が発生しました。特に千曲川流域を中心に堤防の決壊や堤防の越水により、複数個所で広範囲に浸水が発生し、当上田地域でも橋や道路・鉄橋などに大きな被害を与え、シルバー人材センターの就業にも影響を与えました。

さて、このような異常気象や台風被害でシルバー人材センターの就業にも影響が出

ており、雨天の続いた5月・6月は公共・一般家庭で前年実績を下回り、また10月・11月も台風の影響もあり一般家庭が前年実績を下回りました。しかし、一般家庭は今までの遅れを取り戻すかの如く1月が153.9%、2月が133.6%と前年実績を大きく超える伸びとなりました。また、公共と民間企業は順調に推移したため請負全体で前年比101.2%で、12,715千円の増となりました。

就業促進委員会では会員拡大を令和元年度の最重点課題とし、就業拡大と合わせてイベントでのチラシ配布や各種冊子や新聞へのPRをしまいましたが、平成30年度の会員数2,018名に対し、令和元年度は2,006名と12名減少してしまいました。入退会状況を見ますと平成30年度の入会者数は200名、退会者数は213名に対し、入会者数は218名と前年より18名増加していますが、退会者数が230名となり近年は退会者が入会者数を上回る状況が続いているため、全体の会員数は減少してきています。

会員拡大・就業拡大及び総会・班会・講習会等への出席率を上げ、会員の皆さんの意識を高めていただくため、ポイントにより記念品を差し上げる「ポイント制」導入について検討してしまいましたが、令和2年度4月よりスタートすることといたしました。

ア 就業実績

令和元年度の状況ですが、請負は1,103,635千円で前年比101.2%と12,715千円増となりました。発注先別では、一般家庭が△4,038千円と減少しましたが公共・民間企業が大きく増加し、一般家庭の未達分をカバーしました。実績に対し受注件数を見ると一般家庭を中心に前年より△622件と大きく減少しました。

また、派遣事業は65,706千円で前年比114.9%、8,496千円の増となりました。

なお、この増加の要因には適正就業を進める中で、請負就業から派遣就業への変更が進んできていることなどにより派遣事業が増加しました。

請負・派遣の合計の総契約額は、1,169,342千円となり、前年比101.8%で21,211千円の増となりました。

イ 会員拡大・就業拡大の取組

会員拡大は65歳定年制が定着してきていることから、新会員の加入増加が大変難しくなっている状況であるため、上田市広報へのチラシ掲載をはじめ各種冊子や新聞へのチラシの掲載をするとともに、月1回の入会説明会のほかに趣向を変えた体験型の入会を誘う取り組みなどをしてまいりました。

また、7会場でのイベントに参加し入会と仕事募集のチラシ配布を実施し5,330枚ほどのチラシを配布いたしました。その成果もあり令和元年度の入会者数は218名と昨年比較100.9%で18名増加いたしました。

《会員拡大、就業拡大の具体的取組》

【企業訪問】

就業開拓活動企業訪問	47 社
カレンダー配布企業等	244 社

【参加イベント及びチラシ配布部数】

いきいきフェスティバル 2019	丸子地区	300 枚
巨峰の王国まつり	東御地区	1,500 枚
J Aフェスティバル真田会場	真田地区	300 枚
うえだ環境フェア	上田地区	災害で中止
砥石・米山城まつり	上田第3B	600 枚
青木産業祭	青木・第4B	630 枚
上田地域産業展	県連合会との合同開催	700 枚
上小しんりん祭	全体行事	1,300 枚
8回実施	合計	5,330 枚

【入会説明会 I N上高地】

趣向を変えた入会説明会として、体験型入会説明会として「入会説明会 I N上高地」を実施。上高地散策はシルバー互助会で健康ウォーキングを実施した場所であり、今回20名が参加しました。帰りの車中で入会説明会を実施し5名に入会していただきました。

ウ 技能講習会の実施

シルバー人材センターでは、会員等の技能や技術の習得を目的に、県連合会による高齢者活躍人材確保育成事業や当センター独自の講習会を開催しました。

① 高齢者活躍人材確保育成事業（長野労働局から県連合への委託事業）

地域における人手不足分野や現役世代を支える分野での、高齢者の就業を促進するため、広報活動、就業体験、技能講習などを通じてシルバー人材センターに対する理解を深めていただく事業を実施しました。

《技能講習》

講習名	実施時期	日数	受講者数
庭木の手入れ講習	6月	3日	17人
日常生活支援講習 (兼新総合事業上田市指定講習)	11月	3日	8人
2回実施			25人

《シニア世代のセミナー》

セミナー名	開催日	参加者数
横山たか子 食育セミナー	8月27日	50人
シルバー世代のいきいきセミナー	1月21日	45人
2回実施		95人

《就業体験》

体験就業名	開催時期	参加者数
ブドウ収穫作業体験	9月	15人
ハウスクリーニング作業体験	11月	5人
剪定作業就業体験	11月	3人
3回実施		23人

① 独自技能講習・レベルアップ講習

剪定技術や駐車場整理など技術習得に時間のかかるものや、国補事業の対象とならない技能講習を上田地域シルバー人材センターでの独自講習として実施しました。

《独自講習内容》

講習名	講習時期	日数	受講者数
つつじ・さつき剪定講習	6月	1日	10人
救急救命講習(上田、丸子)	6月、7月	2日	41人
高齢者に優しい料理教室	7月	1日	12人
駐車場整理講習	12月	1日	62人
お片付け講習	1月	1日	14人
派遣会員 接遇・マナー講習	2月	1日	31人
松剪定レベルアップ講習	3月	1日	16人
8回実施			186人

エ 派遣事業

顧客及び会員の就業ニーズに対応して、派遣事業の新たな受注に取り組みました。また、就業時間の緩和措置申請にも対応し就業時間の拡大への取組の実施と、顧客及び会員へ適正就業について説明をし、あらためてご理解いただく取組を実施してまいり、令和元年度末現在 51 事業部所で約 100 名の方が就業しています。

- ① 適正就業の徹底の中で「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」に基づき、就業形態を確認し、請負業務から派遣業務への転換を進めるとともに、地域に信頼される派遣事業に取り組みました。
- ② 国の補助制度「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を活用し、派遣事業の拡充強化に努めました。
- ③ 派遣事業の就業時間の緩和措置に対応するため、運転業務を中心に社会福祉・介護事業など 4 業種 11 職種について知事指定を受けました。また、14 業種 19 職種についても追加指定を受けることができました。

オ 介護予防・日常生活支援総合事業

平成 28 年度から委託事業として取り組んできた介護予防・日常生活支援総合事業については、平成 29 年 4 月に上田市から事業所指定を受け、本格的に取り組んでいます。

令和元年度の訪問件数は 455 件、受託件数は掃除・洗濯、調理など延べ 1,965 件のぼっています。就業会員は 15 名、契約金額は 2,947 千円となっています。

東御支所でも平成 28 年 11 月から東御市地域包括介護支援センターからの委託事業として取り組んでいます。今年の実績は訪問件数 188 件、就業会員は 3 名、受注額は 32 万円余となっています。

カ 観光ガイド事業

令和元年度の観光ガイド受注額は、対前年比約 2 倍の実績を積み重ねてきました。特に信州上田観光協会からの「団体向けおもてなし隊事業」の取り組みが大幅に増加したことが要因であります。

おもてなし隊事業は上田城を中心にした現地ガイドをはじめ、城下町「柳町」、別所温泉、真田方面を巡るバスの添乗ガイドもあり、ガイド班の活躍の場が広がっています。

また、従来のシルバーガイドも好評を得ており、観光会社のみならず事業所や学校の研修に、またグループや個人客からのガイド依頼も増え様々な皆様方の期待に応えられるようガイド研修にも取り組んできました。

ボランティアガイドでは、土日を中心とした上田城の常駐ガイドや松尾町にある

「まちなか情報いね館」観光案内所での運営も行い、訪れたお客様に上田城や城下町、町並みなどの見所等もお話するなど地域振興の発展にも寄与しています。

今後も引き続き、信州上田観光協会や関係諸団体との連携を図りながら、全国の旅行会社等への宣伝活動にも力を入れ、上田地域の観光ガイド利用への一層の誘客を進めてまいります。

キ 独自事業

きずなの上田支部リフォーム班、丸子支部手芸班、東御支部リフォーム班による手作り品の販売、真田支所わら細工班による注連飾りなどシルバー人材センターとしての独自事業に取り組みました。

また、刃物研ぎ事業はJ A川辺支所やJ Aの各種イベントでも実施し、実績を伸ばしました。

* 令和元年度の販売実績

上田支部リフォーム班	…	118 千円
丸子支部手芸班	…	12 千円
東御支部リフォーム班	…	10 千円
刃物研ぎ（上田地区）	…	256 千円
わら細工班（真田地区）	…	4,777 千円

ク 令和元年度ボランティア活動実績

地区名	月 日	場 所	作業内容	参加者
第1ブロック	7月5日	上田城跡公園	清掃	55人
	10月16日	上田市交流文化芸術センター	清掃(除草・ゴミ拾い)	43人
	3月19日	上田城跡公園	清掃	中止
第2ブロック	12月4日	上田城跡芝生広場	落葉清掃	42人
第3ブロック	10月17日	上田信濃国分寺資料館周辺	除草	40人
第4ブロック 青木地区	7月27日	青木村役場	除草・草刈	22人
	10月17日	塩田の郷マレットゴルフ場	除草・草刈・落葉清掃	25人
	3月26日	塩田の郷マレットゴルフ場	除草・草刈・落葉清掃	52人
丸子地区	5月29日	丸子ふれあいステーション周辺	剪定・除草・草刈	41人
	6月7日	武石ともしび博物館	除草・草刈	14人
東御地区	6月13日	東御市北御牧公民館周辺	除草・草刈	30人

	9月12日	東御市総合福祉センター周辺	除草・草刈	30人
真田地区	9月3日	特養アザレアン真田、大畑の家	草刈・片付け	23人
長和地区	6月12日	和田宿ステーション付近	草刈	16人
		福井記念公園	剪定・草刈・除草	19人
きずな (上田・青木)	6月18日	上田市指定文化財倉沢家住宅	除草	25人
	10月10日	上田市指定文化財倉沢家住宅	剪定・除草	25人
観光ガイド班	4～11月	上田城跡公園	観光案内	163人
	4～11月	まちなか情報いいね館	観光案内	161人
18回実施				826人

ケ ポイント制実施に向けた検討

就業促進委員会では令和2年度ポイント制導入に向け、検討を重ねてきました。ポイント制を実施することにより会員の皆さんのシルバー催事や会員拡大・就業拡大への意識の向上を図るべく検討し、下記の催事及び主要取組等へのポイント付与を決定し、令和2年4月1日から実施することといたしました。

総会へ出席	1ポイント	きずな総会へ出席	1ポイント
安全講習会へ出席	2ポイント	新規会員紹介(1人)	5ポイント
懇談会へ出席	1ポイント	新規就業開拓(1ヶ所)	3ポイント
班会へ出席	2ポイント	夫婦会員(毎年)	2ポイント
ボランティアへ出席	2ポイント	班長(新規就任)	2ポイント

(3) 安全適正就業委員会

令和元年度の事故件数は、傷害事故が12件、賠償事故が13件、合計25件と、前年度の13件から増加してしまい、ここ近年の増加傾向に歯止めがかからない状況となりました。事故の内容を見ると、現場状況の事前確認不足や注意不足など作業の基本動作を欠いており、未然に防げる事故が多発しています。

また、飛石事故も相変わらず多発しており、新たな対策が必要な状況です。

ア 事故発生状況

事故発生件数の推移

年度・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R元	2	1	4	0	5	2	3	2	4	0	1	1	25件
H30	1	3	1	2	0	0	2	2	0	0	1	1	13件
H29	0	0	1	0	2	0	0	1	2	0	0	0	6件

令和元年度の主な事故内容

	事故の内容
賠償事故	砂利の多い社員駐車場の草刈りで防護ネット無しで行った為に駐車中の車3台にガラス破損、ボディにキズをつけた。
〃	職員宿舍周囲の草刈りを予定時刻より早く開始した為、移動予定であった駐車中の車のヘッドライトにキズをつけた。
〃	グラウンド周辺の草刈りで8メートル程度離れていた企業の従業員駐車場に駐車中の車のリアガラスを破損させた。
傷害事故	野沢菜の不良品分別時、長靴に不良品入れのビニール袋が絡まり転倒して、骨折した。
〃	山林で薪用に木を伐採中、裂けた木が頭部、左側脛、足に当たり、転倒、打撲、骨折となった。

イ 安全就業・交通安全講習会開催

2月から7月にかけて6か所で開催しました。

・令和元年度 出席者数 884名 出席率44%

ウ 安全パトロールの実施

令和元年度は安全委員を2組に分けて各々でパトロールを実施しました。

15件巡回実施

・通常パトロール 12件 検証パトロール 3件

エ 各種講習会の開催

下記のとおり各種講習会を開催しました。

(草刈り講習会の開催)

地区	月日	場所	参加者
丸子	5月16日(木)	丸子公園内	32人
真田	6月14日(金)	真田総合福祉センター	15人
2回実施			47人

(新規事業 新人会員安全講習会の開催)

回数	月日	場所	参加者
第1回	5月10日(金)	上田事務所大会議室	22人
第2回	6月14日(金)	〃	18人
第3回	7月12日(金)	〃	15人
第4回	8月9日(金)	〃	9人
第5回	9月13日(金)	〃	6人
第6回	10月11日(金)	〃	11人
第7回	11月18日(金)	〃	5人
7回実施			86人

(健康講座の開催)

地区	月日	場所	参加者
丸子地区	6月25日(火)	丸子ふれあいセンター	20人
上田地区	7月29日(月)	サトミュージック 大スタジオ	32人
真田地区	8月29日(木)	真田総合福祉センター	14人
上田地区	9月30日(月)	サトミュージック 大スタジオ	21人
長和地区	10月29日(火)	長和町民集会センター	26人
東御地区	11月29日(金)	東御市総合福祉センター	20人
6回実施			133人

オ 草刈作業等における飛石事故防止対策

今年度も下記の安全用具を継続的に斡旋普及することで飛石事故の防止を図りました。

1：プロテックに関するアンケート実施

安全委員会を中心に実際の使用に関するアンケートを実施し、約8割の方から飛石防止の効果あり、との結果を得ました。

2：チップソー交換刃の斡旋

一般交換刃の斡旋 652 枚斡旋実績

プロテック刃の斡旋 67 枚斡旋実績(通常価格¥1,600)

プロテック刃の斡旋 89 枚斡旋実績(割引価格¥1,200)

カ 安全標語の募集

上田地域シルバー人材センター独自に、安全標語の審査を行い下記作品が選ばれました。

慣れ、過信、心のすき間に事故潜む	宮下 忠	丸子-10 八日町	最優秀
忘れまいヒヤリとしたあの瞬間	小山 勝	上田-1-5 上川原柳町	優秀
安全も、慣れた作業も、基本から	窪田 利幸	上田 2-2 中村	優秀
慣れ仕事 自身過信は 事故招く	山邊 光輝	上田 2-13 福田	入選
ヒヤリで良かったその作業 教訓生かして 安全確保	堀内 眞一	東御-3 本海野	入選
まだ出来る 慣れと過信が 事故のもと	中澤 芳江	東御-常田	入選

応募作品 68 点は、県連合会の安全適正就業標語にも応募しました。

そのうち 中澤 芳江さんの標語が県連合の優秀賞に選出されました。

(4) 広報委員会

会員への情報提供や会員どうしの交流をめざして「上田地域シルバーだより」を7回、「お知らせ版」を毎月発行しました。紙面の編集にあたっては、会員が健康維持

や「フレイル」予防に関心を持っていただくための「シリーズ健康づくり」を6回にわたって掲載したほか、会員の声を紹介する「ささえる」コーナーなど、会員が親しめる広報づくりと細かな情報提供に努めました。

また、全面カラー化と大きな文字や写真を多用し、読んでいただきやすい紙面としました。

センターの事業内容や活動を中心としてホームページの内容は随時更新するとともに、会員への就業案内や情報伝達を図るため、携帯メールを活用した情報発信システムの運用と、登録者の拡大を図りました。

(ホームページアクセス件数)	令和元年度実績
トータルアクセス数	37,828 件
トップページ	8,391 件
センターのご紹介	7,025 件
お仕事をしたい方	4,336 件
お仕事を頼みたい方	6,775 件
活動情報	4,565 件
観光ガイド	4,548 件
その他 (お知らせ一覧等)	1,997 件

(携帯メールサービス登録会員数・件数)	令和元年度実績
就業案内登録	550 人
情報発信件数	187 件

(5) 女性班「きずな」

女性班の名称を「きずな」として8年目となりました。女性会員は全員が女性班に加入していることを自覚し、上田市文化財の除草ボランティア活動やフラワーアレンジメント講習会や笑いヨガ講習会、就業に役立つ料理講習会等を積極的に行いました。

また、女性会員の横の繋がりを強化するため親睦交流懇親会を地区ごと実施し、来年度の女性班の活動に繋げていくため会員拡大と就業開拓について検討しました。

3月11日にはサントミュージゼ小ホールにおいて全体集会と講演会を開催する予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大防止対策として延期としました。

(6) 氷見市シルバー人材センターとの交流

姉妹提携を締結している（公社）氷見市シルバー人材センターとは、会員互助会が主体となって、隔年交代で相互に訪問し、双方の事業内容等の研修を通して、交流を深めています。

令和元年度は、氷見市シルバー人材センターの理事長、互助会組織のさくら親睦会会長など14名が上田を訪れ、上田事務所で意見交換を行いました。また、上田リフォーム班との交流も行われ、活動の内容や作品の作り方を聞いたりするなど、和やかな雰囲気での交流が深められました。